

プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区永田町2丁目4番3号永田町ビル6階

TEL 03 (3580) 3215 FAX 03 (3580) 3226

<http://www.precut-kyokai.com>

令和4年度プレカットCAD技術者研修の日程決まる

9月15日に開催したプレカットCAD技術者育成検討委員会（座長：芝浦工業大学 蟹澤教授）において今年度のプレカットCAD技術者研修会の開催概要が決まりました。

4年度の研修では、これまで合同で開催していた新規の2級コースと3級コースを分けて、2級コースは、プレカットCADの経験が3年～10年程度の方を対象に、構造計算やプレカット伏図チェックの演習等を重視したカリキュラムとします。また、3級コースは、プレカットCADの経験が3年未満の方を対象に、木質材料や木質構造の基礎、関連法規の基本等を重視したカリキュラムとします。

研修参加者の募集や受講の受付は11月中旬を目途に開始する予定です。昨年度の2・3級コースは、好評を得て募集期限前に定員に達して受付を締め切らざるを得なかったこともあり、早めのお申し込みをお待ちしています。

研修コース	開催日程	開催方法	定員
新規3級	令和5年2月1日(水)、2日(木)の2日間	オンライン (Zoom)	70人程度
新規2級	令和5年2月14(火)、15日(水)、16日(木)の3日間		70人程度
新規1級	令和5年3月1日(水)、2日(木)、3日(金)の3日間		20人程度
2・3級登録更新	令和5年2月21日(火)		
1級登録更新	令和5年3月9日(木)		

「製材分野」における外国人技能実習制度の取組について

外国人技能実習制度は、「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」に基づいて、外国人労働者を最長5年間、日本の企業で技能実習生として受入れ、様々な技能を習得してもらい海外への技術移転を目的とした制度です。この実習生の在留資格は、「第1号技能実習」（入国後1年目）、「第2号技能実習」（入国後2・3年目）、「第3号技能実習」（入国後4・5年目）に分かれており、実習生が第1号から第2号に、また第2号から第3号に移行して在留期間を延ばすためには、その職種が「移行対象職種」であり、認定された「技能評価試験」に合格することが必要です。

このような中で、（一社）全国木材組合連合会では、「木材加工職種・機械製材作業」を第2号技能実習への移行対象職種に追加すべく厚生労働省等関係省庁へ説明を進め、令和4年度内の厚生労働省等による試験実施機関認定を目指しているとのことです。

なお、（一社）全国木材組合連合会では、試験実施に係るホームページ (<https://zenmoku.jp/exam/>) を開設し、情報提供も行っているとのことです。ご関心のある方はご参照ください。

令和3年会員プレカット工場基礎調査の集計結果（第3回報告）

令和3年12月末現在で実施した「令和3年会員プレカット工場基礎調査」の集計結果の第3回報告では、会員工場における「非住宅・大型木造への対応状況」、「CADの保有状況」、「プレカット加工率」について報告します。（調査回答数：34社）

【非住宅・大型木造への対応状況】

(1) 工場の最大加工サイズ

(長さ)

区分	工場数(工場)	割合
～ 6m未満	0	0%
6m以上～ 9m未満	21	60%
9m以上～ 12m未満	10	29%
12m以上～	4	11%
全体計	35	100%

(幅)

区分	工場数(工場)	割合
～ 15cm未満	3	9%
15cm以上～ 18cm未満	15	43%
18cm以上～ 21cm未満	13	37%
21cm以上～ 24cm未満	0	0%
24cm以上～	4	11%
全体計	35	100%

(高さ)

区分	工場数(工場)	割合
～ 45cm未満	1	3%
45cm以上～ 60cm未満	15	43%
60cm以上～ 75cm未満	15	43%
75cm以上～ 90cm未満	0	0%
90cm以上～	4	11%
全体計	35	100%

(2) CLT等の加工への対応

CLT等大型木材の加工に対応可能な工場は4工場で、全体の11%。

その加工可能サイズは、概ね(1)の長さ(12m以上)・幅(24cm以上)・高さ(90cm以上)の機械を保有。

(3) 非住宅建築の事例

会員工場が携わった非住宅施設では、幼稚園や保育園、老人福祉施設や介護施設、公共施設が多く、その他に店舗、病院、事務所、ホテル、畜舎の事例。

【CADの保有状況】

(1) 保有するCADのソフトメーカーと台数

ソフトメーカー	保有台数	割合
ネットイーグル	232	37%
宮川工機	298	48%
TOA	74	12%
その他	22	4%
計	626	100%

(注) 複数のCADソフトを保有する工場では、保有台数をソフト数で割って各ソフト同数の配分とした。

(2) 保有する台数と担当者数

	保有台数	工場当たり
保有台数(台)	626	18.4
担当者数(人)	561	16.5

(3) 工場以外でのCAD対応やCAD支援

	保有台数	工場当たり
CADの台数(台)	238	29.8
担当者数(人)	239	34.1

(注) ・8工場(全体の23%)で実施。
・海外の対応を含む

【プレカット加工率】

地域別の主要構造部材のプレカット加工率の推計値で、今回の全国平均は94.1%。

	北海道・東北	関東	中部・近畿	中国・四国・九州	全国計
今回の平均(%)	90.6	94.8	96.5	92.5	94.1
前回の平均(%)	90.9	95.4	92.2	95.2	93.2

プレカット業況調査 (令和4年8月期)

一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ (回答率58%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	9	72	19	-10	+3
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	59	38	-35	-27
2-1 貴社の坪当たりの構造材の平均総加工単価はいくらですか。	平均5,600円 (対前回調査+400円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	0	94	6	-6	-6
3-2 3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	3	71	26	-23	-9
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	61	39	0	+61	-12
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	45	48	6	+39	-33
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	10	74	16	-6	±0
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	6	48	45	-39	-42

*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好況、-の数値が大きいほど不況。

*前回調査：令和4年5月

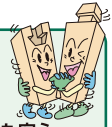
【調査結果の分析】

- 受注額の今月のDIは-10で、前回の+3から悪化に転じました。また、3ヶ月後の予測は前回の-27と同様に-35と悪化する見通しで、先行きの見通しは厳しい状況となっています。
- 構造材の平均加工単価は5,600円と前回比で+400円となりました。DIにつきましても-6と悪化の状況で、3ヶ月後は-23とさらに悪化する予測となりました。
- 資材入手状況については、今月のDIは+61で、困難の回答は「0」でした。また、3ヶ月後の予測DIについても+39となっており、資材の入手については大きく改善し、ほぼ問題はなくなったようです。
- 収益についての今月のDIは-6と前回の±0から悪化に転じました。3ヶ月後の収益予測についても-39と前回の-42と同様に厳しい見通しとなっています。

プレカット工場がリスク管理に対応するため、各種の保険を使い分けることも重要です。そんな中で、協会が運営する「プレカット部材瑕疵保証制度」と類似の保険との違いについてご説明します。

3つの安心をご提供致します!

- ① 保証期間10年間 → 長期間の安心
- ② 保証金額最大2,000万円 → 万が一にも安心
- ③ プレカット部材瑕疵事故発生ゼロ → 高品質の証



○「プレカット部材瑕疵保証制度」のポイント

協会が運営する「全国住宅プレカット部材共済会」が実施する事業で、事業参加会員が加工・販売したプレカット部材が原因で生じる住宅生産者の品確法上の瑕疵担保責任を補償します。「プレカット部材自体の修理」と「それに起因して発生した建物の被害」を1棟あたり2,000万円まで、建物引渡しから10年間の保証です。

△「PL保険」との違い

「プレカット部材瑕疵保証制度」は、対象を構造躯体等のプレカット部材に係る責任に限定することにより安い保証料で効率的に保証します。しかも通常のPL保険では対象外となる「プレカット部材自体の損害」も保証対象です。

	プレカット部材瑕疵保証制度	PL保険
補償対象	<ul style="list-style-type: none"> ・プレカット部材に係る住宅生産者の品確法上の瑕疵担保責任に対応 ・付保する物件は選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場から出荷した全ての製品を対象にPL法上の責任に対応 ・付保対象は全ての物件。選択不可
保険期間	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の引渡しから10年間(品確法上の責任期間と同一) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PL法上の20年間の責任に対して、保険は毎年更新が必要
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・6,700円/棟(10年間の保険料) 	(保険会社に要確認)

△「住宅瑕疵担保責任保険」(住宅生産者が加入する保険)との違い

「プレカット部材瑕疵保証制度」は、安価な保証料で効率的に保証します。必要に応じて付保し、事故の際には住宅生産者の自己負担に応じて使い分けるのが有効です。

	プレカット部材瑕疵保証制度	住宅瑕疵担保責任保険
補償対象	<ul style="list-style-type: none"> ・主要構造部等のプレカット部材の瑕疵に起因し発生した事故に対応 ・住宅以外(事務所、店舗等)や増改築の場合も対象 ・付保する物件は選択可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の主要構造部や雨水の浸入を防止する部分の瑕疵に起因し発生した事故に対応 ・新築した住宅全てが対象
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・6,700円/棟(10年間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・約80,000円/棟(一般住宅、木造2階建て、延床面積120m²の場合)
保険金	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅生産者は2,000万円を限度に自己負担なし(プレカット部材の販売者には一部負担あり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅生産者は2,000万円を限度に、10万円を差し引いた金額の80%を補償(住宅生産者に負担が発生)